

たぐろ

TAKUSUI
No. 731

9

September 2017

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



干しダコづくり (淡路市)

兵庫県漁港漁場協会 通常総会・漁港漁場大会開催 (南あわじ市) 平成29年ノリ養殖技術研修会 開催

《今月の海上安全標語》～ 気をつけましょう… ～

人は仕事に習熟すると危険に慣れてしまうとのこと。
しかも、慣れた人の災害は、慣れていない人の災害より大きいそうで…

「大丈夫!」そんな^{あなた}貴方は **だいじょうぶ?** では、今月も安全操業で!

ようこそ

「ずっと真っ直ぐに」

（ようこそとは航海用語で「宜しく候の意。主に船を直進させるとききの号令として使われる」）

海でのシートベルト

共水連兵庫県事務所企画推進課 **桑原 好美**



ページをめくると真っ先に目に飛び込む「ようこそ」。今月はどなたが担当なのだろう？と毎月楽しみにしていたあのコーナーの寄稿依頼がいに私のところにもやってきてしまった。

心の準備ができておらず、こんなことなら日頃からもっと面白いネタを考えておけばよかったと後悔して後の祭り。入稿締め切りのタイムリミットが刻々と迫り、頭を悩ます毎日。そんな毎日の中の私の息抜きは、趣味の数々です。

テニス・ダイビング…と30歳を過ぎてから色々なことに挑戦し楽しんでまいりましたが、40歳を目前にし、ここに最近新たに加わった趣味が「釣り」です。

友人に連れられ沼島に船釣りに行き、サワラなどの大物を釣り上げさせてもらった快感が忘れられず、それ以来ひとりででも近くの堤防や漁港などにふらりと出かけては魚との出合いに胸を躍らせています。

釣りを始めるにあたり準備した道具は、竿やリールはもちろんなのですが、もうひとつ改めて重要性を認識し購入したものがありません。

「ライフジャケット」です。なお、次回からは県漁連で購入します…(笑)。

海上保安庁が取りまとめた「平成28年 海難の現状と対策」によると、過去5年間の釣り中の海中転落による事故者は997人で、このうちライフジャケットを着用していたのはたった230人(23%)とのこと。ちなみに漁業者の漁船からの海中転落時の着用率も17%と、極めて低い数字となっています。

万が一事故に遭遇した際に、ライフジャケットを着用していると生存率は2倍以上高くなるといわれています。

平成30年2月にはライフジャケットの着用義務拡大を控えています。車に乗ったらシートベルトをするように、漁船・遊漁船等に乗船する方や波止や磯で釣りをする方もライフジャケットを着用し、大切な命はまずは自らで守ってください。そして、忘れてはならない方が一に備えての保障は、JF共済へご加入ください。

私事ですが、4月からJF共済の推進担当になり、現在は淡路島の東浦地区を回っております。

浜で見かけた際には、お気軽にお声がけください。魚の話、釣りの話、もちろん共済のご相談なら尚更大歓迎です。

CONTENTS

No.731 September. 2017

- 2 ようこそ
- 3 兵庫県漁港漁場協会 通常総会・漁港漁場大会開催
淡路市水産まつり開催
- 4 JF仮屋青壮年部水産教室開催
塩田小学校5・6年生、干しダコ作りに挑戦
- 5 ノリ養殖技術研修会
- 6 兵庫県水産技術センター見学会・研究発表会開催
神戸海上保安部航行安全課からのお知らせ
- 7 大輪田塾現地視察研修
- 8 兵庫JCC通信
- 9 旬に想う
海難事故をなくそう
- 10 JFなぎさ信漁連 キャンペーン



表紙の言葉

「干しダコづくり」(淡路市)

活きの良いタコを締める・下処理・干すといった作業を苦戦しながら体験した児童たち。

スーパー等で調理済みの魚介類が売られるのが主流となった昨今、自分で調理することによって、技術の継承や「いのちをいただく」食べ物への感謝など多くのことを学んだと思います。

作った干しダコで美味しいタコ飯をいただいたことでしょう。

兵庫県漁港漁場協会 通常総会・漁港漁場大会を開催 ～県下各地から過去最高の188名集結～

兵庫県漁港漁場協会（会長：浜上勇人香美町長）では、8月22日（火）、南あわじ市のホテル「うめ丸」において、「第66回通常総会」並びに「第57回兵庫県漁港漁場大会」を開催しました。

通常総会では、「漁業者の力を一つにまとめて、漁港漁場という大切な基盤整備を着実に促進したい」という浜上会長の開会挨拶に続き、「水産業の振興に全力を傾注する」との高松宏文兵庫県農政環境部農政企画局長の心強い来賓祝辞が述べられました。その後、JF明石浦の戎本裕明組合長が議長に選出され、事業報告や事業計画など、予定された全ての議題が原案通り可決されました。

引き続き開催された兵庫県漁港漁場大会には、県下各地から近年最高となる188名が参加し、（公社）全国漁港漁場協会松岡英二理事の来賓挨拶と「潤いと活力ある漁港・漁村・漁場づくりに邁進する」という守本憲弘南あわじ市長の力強い大会宣言のあと、次のとおり満場一致で大会決議がなされました。

- ・ 漁港漁場整備長期計画の推進と平成30年度予算の確保
- ・ 漁港海岸事業の促進と平成30年度予算の確保
- ・ 豊かな海の再生
- ・ 県の漁港漁場整備等に対する施策の強化



今後、これら決議の実現に向けて、（公社）全国漁港漁場協会や他府県の漁港漁場協会等と連携して、農林水産省等の関係機関、国会議員、県議会議員、県当局等に働きかけていくこととなります。

その後開かれた情報交換会は、副会長の田沼 政男JF兵庫漁連会長の挨拶と、参与の今井 猛兵庫県漁港課長の乾杯に始まり、地元JF南あわじの小磯富男組合長の中締め後もしばらく余韻が残る盛況ぶりでした。

淡路市水産まつり 開催



淡路市内のJF等で構成される淡路市漁業振興協議会（社領 弘会長・JF一宮町）主催による「淡路市水産まつり」が、9月2日（土）に淡路市の仮屋漁港で開催されました。

同祭りは、平成27年から開催されており、魚離れを少しでも止め、地元魚をもっと市民に知ってもらおうとの思いから、今回で3回目の開催となります。

タイやタコなどの鮮魚や海苔などの加工品が格安で販売されるとあって、開始前から長蛇の列を作ったほか、タコ飯、八毛汁の振る舞いが各300食無料で振るまわれ、約1時間程でなくなるなど、会場は、約3,000人の来場者が訪れ盛況のうちに終了しました。

（文：淡路市漁業振興協議会）



JF仮屋青壮年部が水産教室を開催 ～学習小学校5年生が小型底びき網漁業を見学～



漁獲された魚の説明



栽培と養殖の違いについて

投げ入れて出港しました。沖合では操業中の漁船に近づき、小型底びき網漁の揚網作業を見学し、実際に水揚げされた漁獲物を観察しました。タコやハモなどの旬の魚の他に、小型のサメやシャコなど普段見ることが少ない魚も水揚げされており、興味深そうに触ったりしていました。

帰港後は、県洲本農林水産振興事務所水産課高倉職員から、県内で漁獲される魚の種類や漁法について話があり、田村職員からは栽培漁業と養殖漁業の違いについて説明がありました。続いてJF仮屋青壮年部山口公明さんより地元の漁業の説明等が行われ、地元の産業である漁業について理解してもらおう機会となりました。



学習小学校5年生のみなさん

8月10日(木)、JF仮屋青壮年部(倉本哲也部長)は淡路市立学習小学校5年生(39名)を対象に、小型底びき網漁業の見学などを行う水産教室を開催しました。

仮屋漁港内で4隻の漁船に分乗した子どもたちが事前に青壮年部員、同JF女性部員らと一緒に作ったEM団子を次々に

9月5日(火)淡路市漁業振興協議会(社領弘会長 JF一宮)主催の「お魚教室」が淡路市塩尾の市立塩田小学校5・6年生児童計26名を対象に行われました。この教室は、兵庫県漁業士会が中心に開催していた時期も合わせて今年で9回目となります。この日のスタッフは16名で、同協議会と県・淡路市職員に加え、地元のJF津名塩田支所の職員、4Hクラブの漁業者6名も集まりました。

同協議会事務局松野浩幸(JF一宮 参事)さんの挨拶のあと、干しダコ作りがスタート。まず、お手本として県洲本農林水産振興事務所水産課の高倉職員と田村職員が、マタコの急所を突いて締め、一瞬で真っ白になる様子を見せた後、内蔵を取るなど下処理を実演しました。

その後、児童らに活きたタコが手渡され、下処理に挑戦です。活きの良いタコを締める作業に手こずる児童が多かったものの、各スタッフの補助もあり下処理が完了。下処理後、

塩田小学校5・6年生、干しダコ作りに挑戦

干す作業を実演し、児童らも干す作業を開始しました。ぬるぬるのタコがうまく持てず地面に落ちてしまいう児童や干しダコの形に上手く仕上げられない児童など、なかなか苦戦したようですが全員が干しダコを作り上げることができました。

このあと、高倉職員と田村職員により、クイズを交えた「淡路市の漁業について」と題した話がありました。なお、この日作った干しダコは学校で一晩干され、翌日持ち帰りました。

児童たちからは、「気持ち悪かったけど楽しかった」、「お母さんにこれでタコ飯を作ってもらおう」などの声が聞かれ、貴重な体験となったようです。



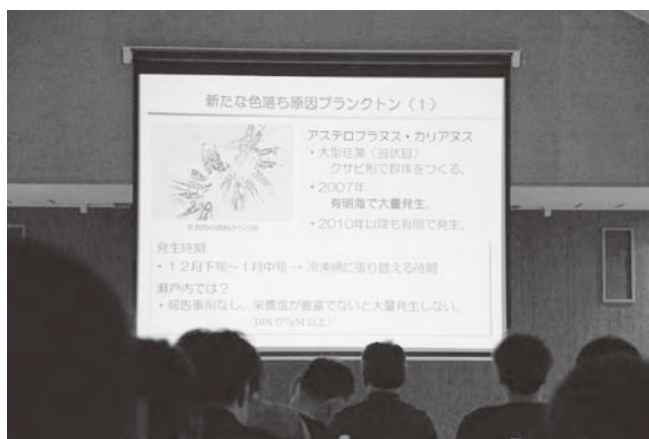
ノリ養殖について様々な角度で研修 平成29年ノリ養殖技術研修会



9月6日(水)明石市の兵庫県立水産技術総合センターで、JF兵庫漁連(田沼政男会長)主催による「平成29年のノリ養殖技術研修会」が開催され、ノリ生産者・関係者ら約130名が参加しました。この研修会は、毎年この時期にノリ養殖の持続的発展のために必要な知識技能を習得し、ノリ養殖業の経営安定に資

することを目的に行われ、今年は7課題について発表がありました(別表参照)。兵庫のり研究所からは、養殖技術や漁場環境の報告と平成29年度の育苗期や本張り期の重点事項等について発表されました。兵庫県立水産技術センター二羽主席研究員より、全国のノリ養殖の問題点として、生物による食害についてや温暖化による被害として赤ぐされ病等の発症について詳しく話されました。

また、(株)高岡屋 高岡 則夫社長は、兵庫県産ノリのコンビニエンスストア使用状況や海外でのノリ消費の動向についても「需要の主力となったコンビニ用ノリでもワンランク上を意識したノリづくりの」の提案や、海外での日本食ブームの高まりから「日本食Ⅱ寿司といった認識があり、世界でノリが足りない状況にある」といった情報から、「そもそも兵庫県にはノリはなかったが、浮き流し漁法の開発など先人達の技術革新によって大漁場となった。新たに技術革新を起こすような気持ちで高品質で衛生安全なノリを多く作っていただきたい」と伸び続ける需要に「ノリを未来に残してほしい」と話されました。いずれの研究発表、講演、報告も関心が高く、会場では熱心に聞き入る参加者の姿が見られました。



新たな色落ち原因プランクトンの報告も



「ノリを未来に!」と話された高岡社長

題 目	講師・発表者
アオノリ養殖における技術開発について(研究発表)	森重 雄大(JF兵庫漁連 兵庫のり研究所 主任)
近年のノリ漁場環境について(研究発表)	竹迫 史裕(JF兵庫漁連 兵庫のり研究所 主任)
全国のノリ養殖漁場が抱える問題について(講演)	二羽 恭介(兵庫県立水産技術センター 主席研究員)
平成29年度漁期にむけて(研究発表)	川崎 周作(JF兵庫漁連 兵庫のり研究所 所長)
兵庫県産海苔のコンビニ使用について(講演)	高岡 則夫(株式会社高岡屋 代表取締役社長)
のり養殖時の安全対策について(報告事項)	重金 力(神戸海上保安部航行安全課 第一海務係長)
発災時の明石海峡航路等における航行ルールの策定について(報告事項)	川端 成記(第五管区海上保安部交通部航行安全課)

(発表順:敬称略)

平成29年度 兵庫県水産技術センター見学会・研究発表会を開催

研究発表会を開催

兵庫県水産技術センターでは、日頃調査研究している課題や、その成果を水産関係者にお知らせするとともに、広く県民の方々に水産業を身近に感じ理解を深めていただくことを目的に、毎年、見学会と研究発表会を開催しています。見学会は子どもから大人まで楽しめる内容で、研究発表会はより分かりやすく、多くの人に知ってもらえるよう、それぞれ工夫を凝らして実施しています。

今年台風5号が通過した翌日、8月8日に見学会・研究発表会を実施しました。

午前中の見学会では、海や魚に興味を持ってもらうために、顕微鏡を使ったプランクトン観察、煮干しの解剖、魚拓の作成を体験できるコーナーや、画像や実物の魚を見ながらの水産業の学習、「ふれあいプール」で生き物に触れる体験などを行い、小学校低学年から大人まで楽しんでもらいました。

また、午後の研究発表会では、当センターの研究内容に加え、JF浜坂の女性部からも実績発表をしていただきました（別表参照）。県内の漁業者をはじめ、JF関係者、行政や研究機関関係者、一般参加者等、数多くの方のご出席を得て、本県の水産試験研究の最新成果をご理解いただけたと感じています。出席した皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

今後より分かりやすく楽しい内容でこの会を実施していきますので、来年も是非、当センターにお越しください。

（文：兵庫県水産技術センター）



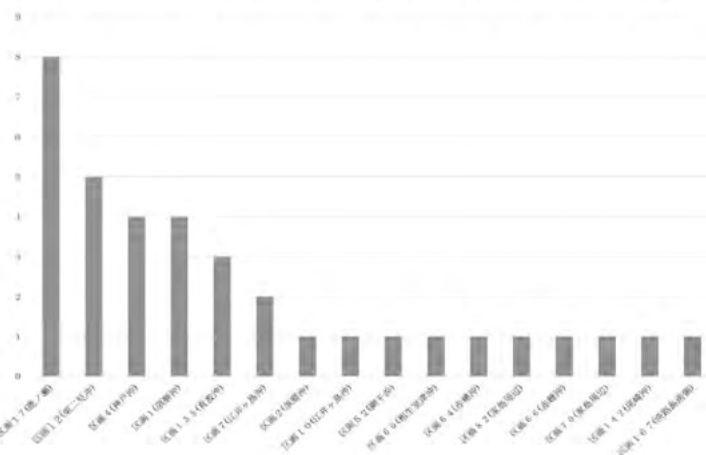
発表内容	発表者
水産技術センターの業務と近年の主な研究成果	水産技術センター水産環境部 専門技術員 大石 賢哉
浜のかあちゃんの「ほたるいかつくだ煮」を商品化	浜坂漁業協同組合女性部 川越しのぶ
但馬沖のズワイガニ、アカガレイ保護育成礁で桁網の操業にチャレンジ	但馬水産技術センター 主席研究員 岡本 繁好
外殻の色や形に着目したマガキの集団選抜育種	水産技術センター水産増殖部 主席研究員 谷田 圭亮
温暖化に対応したワカメの種苗づくり ～種苗不足の解消に向けた取り組み～	水産技術センター水産増殖部 主席研究員 二羽 恭介

（発表順：敬称略）

のり網注意!

神戸海上保安部航行安全課からのお知らせ

のり養殖施設に係る区画別の事故発生状況（過去5年漁期）



のり生産者の皆さんに お願いしたいこと

- ・夜間における明示ブイの同期点滅
- ・明示ブイの大型化
- ・俵ブイの2段重ね
- ・危険を知らせる看板の設置
- ・ブイの色はオレンジ色が有効

★ライフジャケットの着用

自身はもちろん、
家族のためにつけよう
ライフジャケット!

大輪田塾現地研修 ～加東市・但馬地域へ～

今年度の大輪田塾現地研修は県内研修とし8月29日（火）・30日（水）に行いました。

29日は加東市にある株式会社大西コルク工業所を訪れ、発砲スチロール製品等の工場を見学しました。原料ビーズに蒸気をあて膨らませた発砲ビーズを金型に入れ、もう一度蒸気をかけることにより膨らんだビーズ同士が熱でくっつき製品になる様子を見学し、普段何気なく使う発砲スチロール製品がこの様に造られることを学ぶと共に、養殖筏で使うKPフロートや発砲スチロールのリサイクルについて質疑応答が行われました。



大西コルク工場見学



蒸気を当て膨らんだ発砲ビーズ

翌日は但馬水産技術センターを訪れ、森俊郎首席研究員より兵庫県の水産加工品についての説明や農林水産技術総合センターでの水産加工流通部門での漁業者・水産加工業者・行政と一体となった試験研究の取組みなど、兵庫県内の加工相談や利用加工試験の歴史について学びました。

次に、JF但馬を訪れ、丸山和彦統括本部長より、但馬の漁業・農業・醸造で誕生した「まるごと魚お醤油 但馬一滴」や県産海苔を原料に魚醤を使った調味料で味付けした味付け海苔の商品開発など、今後の販売展開について説明を受けました。



JF但馬 丸山統括本部長の講義

午後からは、JF浜坂を訪れ、川越一男組合長よりカニ頼みの経営からの脱却をめざし第2のブランド魚種としてホタルイカに着目し、チューブパックに入れ出荷する「浜ほたる」、一年中出荷できるプロトン凍結ホタルイカに販売についての取組み、観光協会等と協力して誕生した「カニソムリ工」、学校給食への食材提供について説明を受けました。

4か所で現地研修を受け、ボリュームの大きな視察となりましたが、但馬地域漁協の取組みや県内水産加工品の歴史など多くの事を学ぶことが出来ました。



JF浜坂 川越組合長の講義



但馬水産技術センター 森首席研究員の講義

大分、福岡の中央会を訪問し、九州北部豪雨復興支援の見舞金を贈呈

7月5日から6日にかけて、九州北部で発生した集中豪雨では、大分県と福岡県を中心に田畑の水没、ビニールハウスの倒壊や土砂の流れ込み、果樹園の崩落など深刻な農業被害をもたらしました。

JAグループ兵庫は被害を受けた地域の被災者を支援するため、8月2日に大分、3日に福岡と、両県の中央会を訪れ、それぞれ見舞金100万円を贈りました。

見舞金は、JAが県内外で発生した甚大な災害や事故に対して積み立てている災害見舞基金および連合会からの拠出金を活用しました。

また、JAグループ兵庫では、九州北部豪雨被害からの復旧、復興を支援するため、JAグループ役員を対象にJAグループ兵庫九州北部豪雨被害支援募金を実施。JA・連合会から集まった支援募金は、JAグループの災害対策本部へ送金しました。



JA福岡中央会倉重会長(左)に見舞金を贈呈する石田会長

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

「兵庫県生協連 医療生協いち押し活動交流会」開催

7月31日(月) 14時～17時、兵庫県農業共済会館において、互いの活動を知り、組合員・職員の交流を図ることを目的とした「医療生協いち押し活動交流会」を開催。8医療生協の組合員、役員と職員あわせて67人が参加しました。

各医療生協が取り組みを進めている一押し活動を発表し、グループ毎に発表についての意見交換と、発表者との質疑応答を通して交流を深めました。

参加者からは「他生協の活動が良く理解できました。3時間があっという間でした」「じゃんけんゲームや漢字パズルなど参加型の発表が良かった」「いち押し活動だけあって、きめ細かく活動されていると刺激を受けました」「来年も開催してほしい」などの感想が寄せられ、有意義な交流会となりました。



活動発表 姫路医療生活協同組合

<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>

旬に想う

写真と文
遊方子



医事療法のこと

◆健康に対して関心を持つ人が増えたのは、高齢者が多くなったためであろう。働く世代が少なくなり、要介護の年齢層が増加傾向なのは重大な社会問題である。医師会主催の講演会が、予備席も満杯になる盛況で、思わぬ反響に慌てたようだった。年寄りが多くて立ち見させる訳にもいかず、通路に補助椅子を出す事を禁じられているとか、鄭重に諦めるよう説得していた。講話は昨今の医事医療問題を取り上げ、現場の医師による説得力ある内容で大いに参考になった。

《生活習慣病・足腰の痛み・眼病・痴呆症》など、高齢者を取り巻く話題は多く、それへの対応策の色々や、技術進歩にも素晴らしいものがある。

◆内視鏡による大腸検査を受けた。異常があつての検査でなく、健康診断に付随した検査で気は楽だったが、前日からの準備に少し緊張した。消化の良い粥を摂り、午後には腸内泡消し剤を飲み、夕食後に下剤を飲む。検査当日は絶食し、朝に腸内洗浄液2ℓを2時間掛けて服んだが、此れがかなりしんどい。途中、気分が悪くなる事もあるという。昨夕の下剤効果で下痢が続いて、洗浄液が効いて廁通い十数回は大変だったが、澄んだ色になって準備完了。病院へ直行し検査衣に着替え横臥。内視鏡が滑り込み、直ぐ大腸内部がテレビ画面に鮮明に映る。自分の腹中観察は初経験だった。螺旋状の隧道が延々と続き、以前に見た映画「ミクロの決死圏」を思い出す。確かな技術進歩に感謝・感謝であつた。

◆医事に関する情報が氾濫している。誤診や医療ミスが大きく取り上げられ、高額な賠償金請求の裁判も話題になる。近年、起こした医療事故は2千数百件と過去最多であるという。少し恐ろしい数値だが、医師は百分の自信を持ち治療に臨む事は少ないそうだ。大抵は良く判らぬまま、患者の様子を観察しつつ対応するのが現実らしい。毎年の定期検診を欠かさず受けた作家が、末期ガンを宣告され「医者が悪口は言わない」と書き残して旅立った。いい最期だ。

◆医療は科学の応用であるから、時には失敗も起こり得る。臓器移植・遺伝子治療・細胞再生など、先端医療は間口が広くて奥行きはズーンと深い。どう進展するのか全く予測できない。アメリカのバイオ企業では、あらゆる組織に成長できるES細胞を、視力の殆どない状態の患者の網膜へ移植し、かなり視力が改善できたという。まだ予断を許せぬ状況ながら、未来へ光芒が見えるようである。中国の古書「黄帝内経」に《人の天年は百歳である》と明記されている通り、平均寿命は毎年延びており、それに近づきつつあるように思う。

海難事故をなくそう!

ライフジャケットを着よう!

ライフジャケットを着用することで助かる可能性は飛躍的に向上します。

自分自身のために、そして、家族のために是非、着用してください!

“平成30年2月 ライフジャケット着用義務化はじまる!”



浮力合羽
モデル：JF兵庫漁連
浜田和行さん

～安全をサポート～ 浮力合羽はお持ちですか?

浮力合羽はJF兵庫漁連が開発したもので、皆様の安全をサポートします。

浮力は充分にあり、動きやすいように工夫されています。

まだお持ちでない方は是非!



※国土交通省の型式承認試験基準に合格したものではありませんので、一人乗りの漁船の場合、ライフジャケットを着用してください。

ライフジャケット
モデル：(一社)淡路水交會
奈良三恵事務局長

ライフジャケット・浮力合羽の購入は
所属JFかJF兵庫漁連のり海藻部資材担当(078-942-9272)までお問い合わせください

JF マリンバンクなぎさ マイカーローンキャンペーン

募集総額
3億円

取扱期間：平成 29 年 9 月 19 日（火）▶ 平成 30 年 3 月 30 日（金）

最長 8 年、500 万円
までお借入可能

※詳しくは裏面の商品概要をご参照ください

<キャンペーン特別金利> 保証料込

変動
金利

年 **2.90%**

に取
引状
況

<引下げ後金利> 保証料込

変動
金利

年 **2.50%**

※金利引き下げとなる取引は、「金利優遇条件と優遇幅」を参照ください。

さらに！

水産系統
団体職員

組合員

組合員
団体職員の
家族

に左
つ
い
て
方

変動
金利

年 **2.30%**

<最大引下げ後金利> 保証料込

※左記の方のうち、金利優遇条件を満たしていただいた場合の適用金利となります。

（平成 29 年 9 月 19 日現在）

お申込み時に必要となる書類（例）

- ディーラーからの見積書または注文書
- 運転免許証
- 所得を証明する書類
（源泉徴収票、確定申告書など）

※お申込みにあたっては、印鑑をご持参ください

金利優遇条件と金利優遇幅

金利優遇条件	優遇幅
①住宅ローンを利用中	
②年金受給口座・給与振込口座・水揚代金振込口座のいずれかが指定 上記①②のどちらかを満たす方（もしくは、満たす家族がいる方）	▲0.2%
③定期貯金（100万円以上、期間1年以上）を契約	
④定期預金（契約額50万円以上、期間3年以上）を契約 上記③④のどちらかを満たす方（もしくは、満たす家族がいる方）	▲0.2%
水産系統団体職員、組合員の方（もしくは、その家族の方）	▲0.2%

※金利優遇はキャンペーン特別金利からの優遇となります

※ご融資利率は、お申込時ではなく実際にお借入いただく日の金利が適用されます。

※お申込みに際しては、当連合会および保証機関の審査が必要となるため、審査結果によってはご希望に添いかねる場合があります。

※金利情勢等により、店頭表示金利・金利引下げ幅・商品内容等を見直す場合がございます。

JF マリンバンクなぎさ

詳しくはお近くの店舗までお問い合わせください。



本 店：兵庫東明石市中崎1丁目2番3号	☎078-919-1210	津居山営業店：兵庫東豊岡市津居山317番地	☎0796-28-2533	和歌山支店：和歌山県和歌山市船場町東ノ町33	☎073-432-0761
神戸支店：兵庫東神戸市垂水区平磯3丁目1番10号	☎078-704-0880	樂山営業店：兵庫東美作郡美作町香住区沖瀬911番地の8	☎0796-37-0455	有田支店：和歌山県有田市宮崎町2405	☎0737-83-5566
明石支店：兵庫東明石市林3丁目19番23号	☎078-923-4323	浜坂営業店：兵庫東美作郡新温泉町浜坂1478番地の1	☎0796-82-3023	御坊支店：和歌山県御坊市塩屋町南塩屋450-4	☎0738-22-5277
明石浦営業店：兵庫東明石市岬町33番1号	☎078-917-8154	淡路島支店：兵庫東淡路市生穂1553番地の7	☎0799-64-2331	田辺営業店：和歌山県田辺市江川43-35	☎0739-22-3170
坊勢支店：兵庫東姫路市家島町坊勢697番地	☎079-326-0234	東淡営業店：兵庫東淡路市岩屋1414番地の1	☎0799-72-5525	串本支店：和歌山県東牟婁郡串本町串本1884	☎0735-62-5400
但馬支店：兵庫東美作郡美作町香住区若松747番地	☎0796-36-1334	西浦営業店：兵庫東淡路市青波1483（青波道徳館内）	☎0799-84-0399	すさみ営業店：和歌山県西牟婁郡すさみ町開歩見4866-7	☎0739-55-2414
				勝浦営業店：和歌山県東牟婁郡勝浦町大字地14-2	☎0735-52-0843